

令和2年度ネットリサーチ「在宅医療」に関するアンケート結果報告書

■結果のポイント

- 長期療養が必要になった場合に在宅医療を希望するかについては、「希望するが、実現は難しい」(38.9%)が最も高い。
- 在宅医療が難しい理由や希望しない理由は、「家族に負担をかけるため」(71.3%)が最も高く、次いで「経済的な負担が大きいため」(43.6%)が高い。
- 将来、どこで最期を迎えたいかについては、「自宅」(43.0%)が最も高い。

■調査結果の概要

1 在宅医療の認知状況

◇ 「知っている」が45.8%で最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」が43.3%と続く。

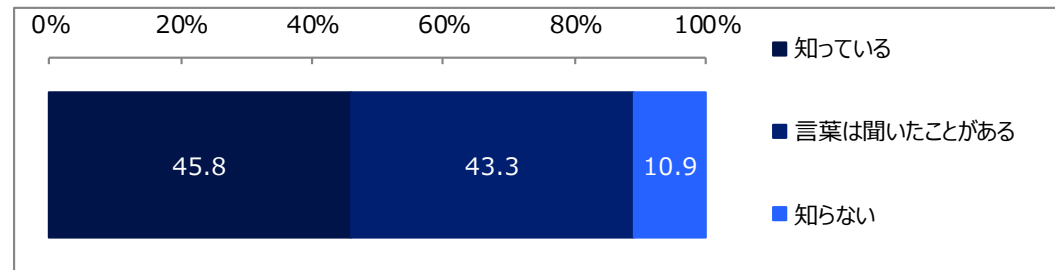
まず初めに、以下の内容をお読みになってから、お答えください。

「在宅医療」とは、身体の機能が低下し、通院が困難な患者さんが、自宅で療養を希望した場合に、医師の往診や治療、訪問看護などの医療サービスを自宅で受けながら療養生活を送ることです。

Q1.あなたは、「在宅医療」について知っていますか。次の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
知っている	45.8	458
言葉は聞いたことがある	43.3	433
知らない	10.9	109



2 訪問看護の認知状況

◇ 「知っている」が50.2%で最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」が41.3%と続く。

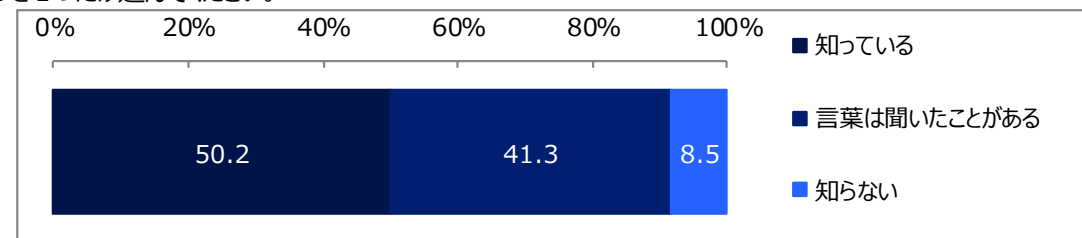
続いて、以下の内容をお読みになってから、お答えください。

「訪問看護」とは、看護師等が生活の場へ訪問し、看護ケアの提供（健康状態のチェックや医療処置）を行い、療養生活を支援するものです。

Q2.あなたは、「訪問看護」について知っていますか。次の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
知っている	50.2	502
言葉は聞いたことがある	41.3	413
知らない	8.5	85



3 在宅医療の希望と実現の可能性

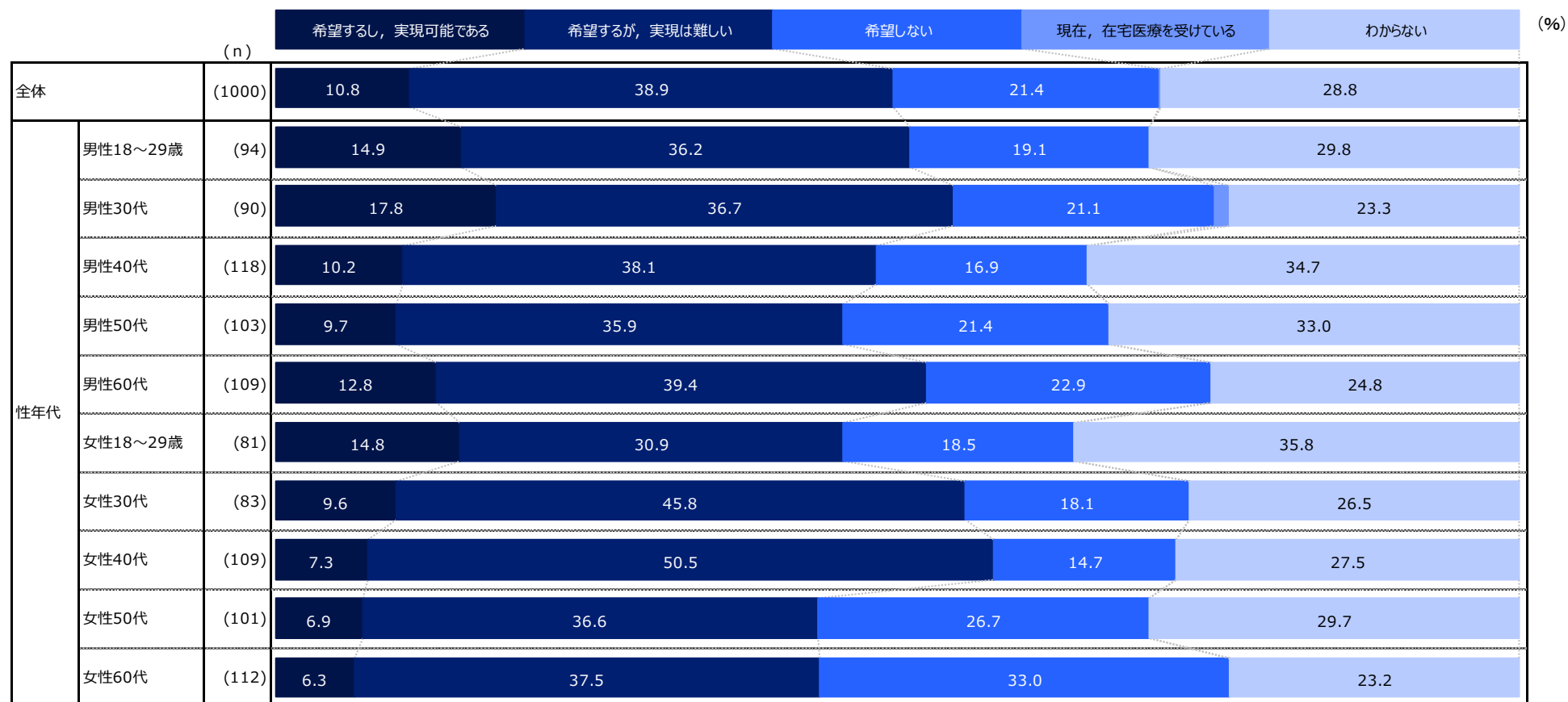
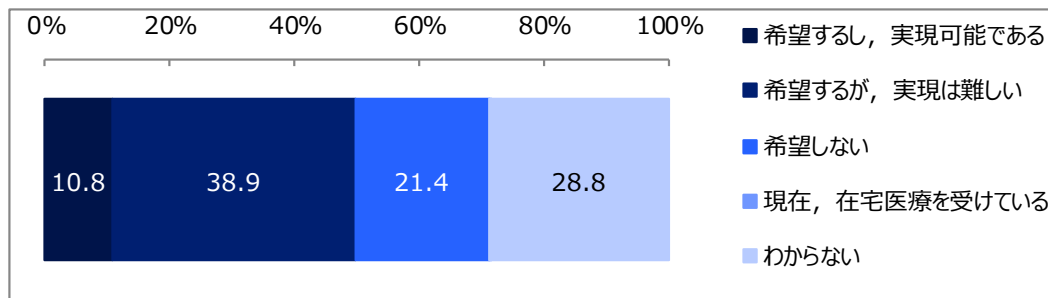
◇ 全体では、「希望するが、実現は難しい」が38.9%で最も高く、次いで「わからない」が28.8%で続く。

◇ 性・年代別で見ると、「希望するが、実現は難しい」は「女性40代」で50.5%と最も高い。また、「希望しない」は「女性60代」で33.0%と最も高い。

Q3.あなたは、脳卒中やがんなどで長期の療養が必要になった場合、在宅医療を希望しますか。また、その実現は可能だと思いますか。次の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
希望するし、実現可能である	10.8	108
希望するが、実現は難しい	38.9	389
希望しない	21.4	214
現在、在宅医療を受けている	0.1	1
わからない	28.8	288



* 2.0%未満は値表示なし

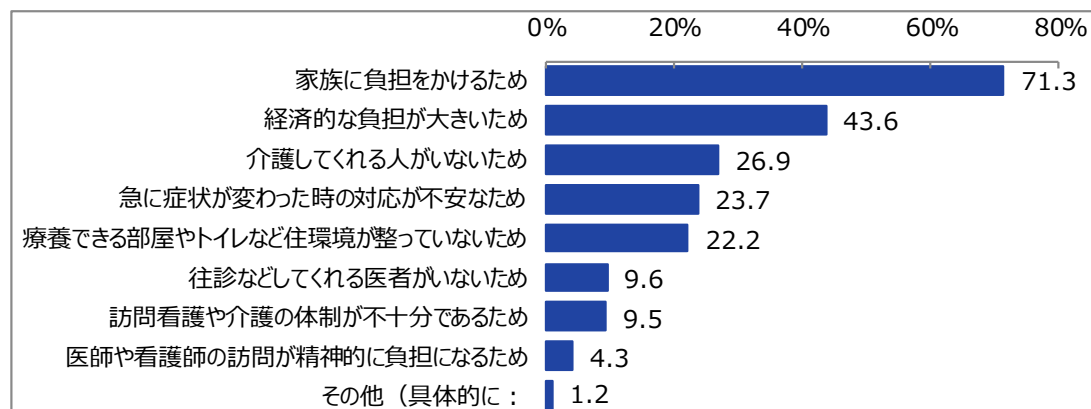
4 在宅医療が難しい理由や希望しない理由

◇ 「家族に負担をかけるため」が71.3%で最も高く、次いで「経済的な負担が大きいため」が43.6%と続く。

Q4.前問で「希望するが、実現は難しい」又は「希望しない」とお答えになった理由をお選びください。（あてはまるものを3つまで）

MA

	%	n
全体	100.0	603
家族に負担をかけるため	71.3	430
経済的な負担が大きいため	43.6	263
介護してくれる人がいないため	26.9	162
急に症状が変わった時の対応が不安なため	23.7	143
療養できる部屋やトイレなど住環境が整っていないため	22.2	134
往診などしてくれる医者がいないため	9.6	58
訪問看護や介護の体制が不十分であるため	9.5	57
医師や看護師の訪問が精神的に負担になるため	4.3	26
その他（具体的に：	1.2	7



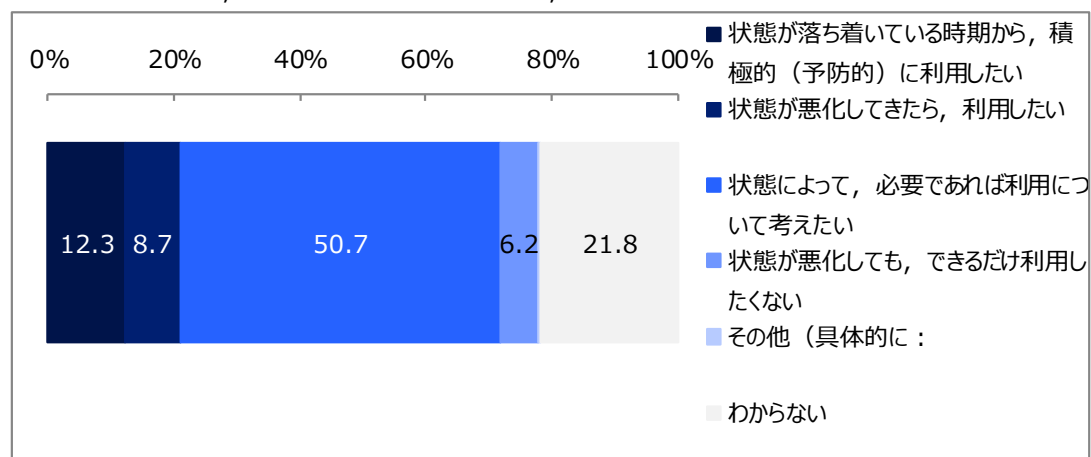
5 訪問看護の利用希望

◇ 「状態によって、必要であれば利用について考えたい」が50.7%で最も高い。

Q5.在宅医療のサービスの1つとして「訪問看護」があります。あなたやご家族の訪問看護利用について、自分の考えに最も近いものを、次の中から1つだけ選んでください。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
状態が落ち着いている時期から、積極的に（予防的）に利用したい	12.3	123
状態が悪化してきたら、利用したい	8.7	87
状態によって、必要であれば利用について考えたい	50.7	507
状態が悪化しても、できるだけ利用したくない	6.2	62
その他（具体的に：	0.3	3
わからない	21.8	218



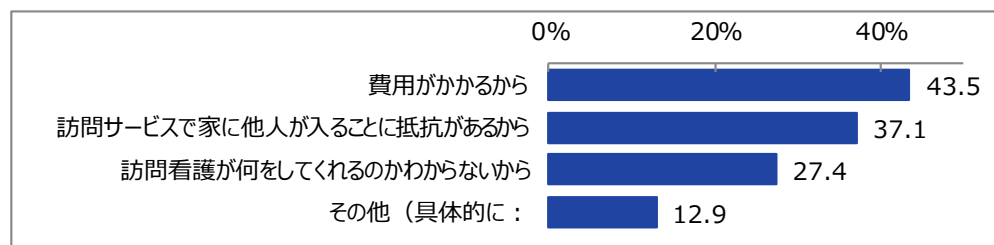
6 訪問看護を利用したくない理由

◇ 「費用がかかるから」が43.5%で最も高い。

Q6.前問で「状態が悪化しても、できるだけ利用したくない」とお答えになった理由をお選びください。(あてはまるものはすべて)

MA

	%	n
全体	100.0	62
費用がかかるから	43.5	27
訪問サービスで家に他人が入ることに抵抗があるから	37.1	23
訪問看護が何をしてくれるのかわからないから	27.4	17
その他（具体的に：	12.9	8



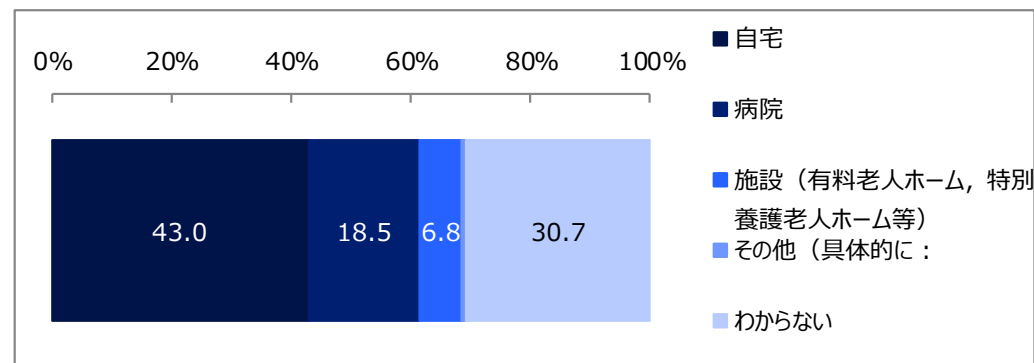
7 最期を迎える場所

◇ 「自宅」が43.0%で最も高い。

Q7.あなたは、将来どこで最期を迎えたいと思いますか。次の中から、一番近いものを1つだけ選んでください。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
自宅	43.0	430
病院	18.5	185
施設（有料老人ホーム、特別養護老人ホーム等）	6.8	68
その他（具体的に：	1.0	10
わからない	30.7	307



■調査の目的

今後、益々、医療と介護を必要とする状態の高齢者の増加が見込まれることから、少ない医療資源を効率的・効果的に活用することが必要である。そのため、茨城県では、地域における医療・介護の関係機関が連携して、多職種協働による医療や介護、福祉等のサービスを切れ目なく提供する体制づくりの構築を目指している。今回、在宅医療に関する県民の意識を調査し、今後の施策の検討や「第7次茨城県保健医療計画」の検証に活用していく。

■実施概要

- ・実施期間 令和2年6月12日～19日
- ・サンプル数 茨城県常住人口調査（令和2年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		205	160	96	348	191	1,000
性別	男性	106	80	51	178	99	514
	女性	99	80	45	170	92	486
年代別	18～29歳	33	27	17	65	33	175
	30歳代	34	28	17	62	32	173
	40歳代	46	37	21	81	42	227
	50歳代	45	33	19	69	38	204
	60歳代	47	35	22	71	46	221

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。